

# 第17回消防防災研究講演会の開催

## 消防研究センター

第17回消防防災研究講演会（テーマ：大規模・特殊災害時における現場対応と消防科学技術の役割 ～今後の首都直下・南海トラフ地震への対応について～）が、平成26年1月31日（金）、日本橋公会堂で開催されました。消防研究センターは、これまで十勝沖地震における石油タンク全面火災、新潟県中越地震による斜面災害現場、東日本大震災におけるコンビナート火災現場などにおいて、科学的知見に基づいたデータや助言などを提供し、災害収束のための応急対応を消防本部や事業所などともに行ってきました。今回の講演会では、当時の現場活動の状況を関係機関担当者らによって改めてレビューし、これらの経験を踏まえて、今後様々な災害を引き起こすことが指摘されている首都直下・南海トラフ地震での応急対応について議論しました。

報告された研究課題は、以下のとおりです。

- ・大規模地震災害に対する消防防災技術のあり方
- ・震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱いについて
- ・2004年新潟県中越地震の土砂災害現場における技術支援
- ・新潟県南魚沼市で発生したトンネル爆発事故の現場活動支援
- ・タンク浮き屋根沈没と全面火災への対応事例
- ・東日本大震災におけるガスタンク火災への対応について
- ・東日本大震災における石油コンビナート等防災区域の火災対応について
- ・危険物施設がかかえる課題と今後
- ・石油タンクの地震・津波被害予測



第17回消防防災研究講演会（日本橋公会堂）

- ・石油タンク火災の泡消火効率の改善に関する検討
- ・震災時の消防活動におけるロボット技術の活用

当日の配布資料は以下から入手できます。

[http://nrifd.fdma.go.jp/publication/kouenkai\\_gaiyou/files/koenkai\\_17th.pdf](http://nrifd.fdma.go.jp/publication/kouenkai_gaiyou/files/koenkai_17th.pdf)



### 問い合わせ先

消防庁消防研究センター 研究企画室  
TEL: 0422-44-8331（代表）